



瀧本 孝一 議員
(新興会)

一括質問
方式

少子化対策に大胆な結婚等 お祝い制度の創設を

問 当市では結婚したカップルや、子供を出産した夫婦に対する「写真立て」の贈呈を
除き、お祝い金等の制度がないと聞く。少子化対策と若者定住のため、結婚や出産のお祝いとして、全国や県内
一と誇れる大胆な制度を創設する考えは。

答 平成21年度に「遠野市わらすっこ条例」を施行し、わらすっこ基金等も創設して子どもを産み育てること
に「夢がもてるまちづくり」を目指し、総合的にまちづくりを進めている。このプランの
ライフサイクルの中で、出会い・結婚・出生・成長・就職、それぞれの
場面で支援を行っており、新年度からは新たに「わらすっこの誕生
生応援事業」として、

写真立てに加え金額にして1万円分の「わらすっこ応援券」を配布する。
“大胆な”という言葉
葉や事業については行政として及び腰になる部分もあるが、議会側の協力も得て前に進んで行きたい。

写真立てに加え金額にして1万円分の「わらすっこ応援券」を配布する。
“大胆な”という言葉
葉や事業については行政として及び腰になる部分もあるが、議会側の協力も得て前に進んで行きたい。

S Lプロジェクト土木遺産 「達曾部川橋梁」の位置付けは

問 本年12月にも運行予定のJR釜石線のS L運行に「S L停車場プロジェクト推進本部」が設置されたが、取組の目的や取組事項に、県内初認定の土木遺産である宮守川橋梁(めがね橋)と達曾部川橋梁(岩根橋)の2つの橋梁のうち、後者だけが全く触れられていない。

答 1月中旬に、産業振興部内にプロジェクトの推進室と官民協働の推進本部を立ち上げ、その後、商品開発部会等3つの部会を設置した。今後市内の地



宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」のモデルとされる達曾部川橋梁(岩根橋)

宮澤賢治の『銀河鉄道の夜』のモデルになったといわれる、達曾部川橋梁の土木遺産の価値の位置付けと地域活性化、PRや周辺環境整備、観光客等への対応についての考えは。

域資源を見直し、遠野の魅力を再発見する各種事業の構築を図って物語の点と点を線で結び、交流人口の拡大や活性化を含め、達曾部川橋梁も貴重な観光資源であることから、観光スポットとしての環境整備やPR等部会で検討を進める。

【その他の質問】

○市内小中学校のベルマーク運動の実態について。